

『ふるむ・マラウイ』～ニイカナショナルパーク～

1st /July/2012 第26号

Muli bwanji ! (ムリブワンジ：チェワ語でこんにちは、ご機嫌いかがの意)

今回は、ニイカナショナルパークを紹介します。マラウイ第三の都市で北部の中心となっているムズズから約4時間さらに北に向かいます。公共交通機関が少ないので、車をチャーターする人が多いようです。写真のような高原が広がり、静謐という言葉がぴったりな場所です。シマウマやオリックスの仲間が多く生息しています。元々、森林も広がっていた地帯でしたが、植民地時代にイギリスの入植者用にかなりの面積が伐採されたということでした。現在は再び植林し、林業も行われるようになっています。マラウイは、観光資源は各所にありますが、交通アクセスが悪く他のアフリカ諸国に比べて観光産業はまだまだ遅れていると実感します。でも、便利なだけじゃない観光を求める人には興味深いかもしれません。



果てしなく広がる高原



シマウマ(写真左)とオリックスの仲間(写真右)



木を伐採したあと

このナショナルパークに生息している動物は、リードバック、シマウマを中心とした草食動物とヒョウが見られます。ゲームサファリの時にヒョウを見つけるのは大変難しいでしょう。ニイカ高原は鳥類の種類も豊富で、通常の平原やマラウイ湖とはひと味違うゲームドライブを楽しめると思います。